

報告：第4号

3月4日（金）05 神山玄太 議員 答弁資料目次（令和4年3月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5	甲府市都市計画マスタープラン及び甲府市立地適正化計画の中間的評価について	まちづくり部長	2
1-6	第二期甲府市空家等対策計画について	市長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 2-6	甲府市都市計画マスタープランが目指す都市の将来像を実現する方法について	まちづくり部長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	キャリア教育について	教育長	1
3-2	電子申請に関する調査及び取扱い手続きの拡充等について	行政経営部長	2

報告：第4号

令和4年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

キャリア教育について

- (1) 質問者 神山玄太 議員
- (2) 質問日 3月4日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、キャリア教育について、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための、キャリア発達を促す教育であるとしております。

こうした中、本市では、甲府市学校教育指導重点において、将来の生き方を見つめた体系的なキャリア教育の推進を掲げ、各校に対して、将来の夢や希望、働くことの意義や目的、自分の個性や適性の把握などについて、発達段階に応じた計画的な指導を行うことを求めています。

具体的には、小学校では、働く人々の様子を調べる学習や保護者や地域の方を招いての職業講話、校外学習における職業体験など、中学校では、自己実現を図るための進路選択が重要な課題となることを踏まえ、市独自に作成している進路ノートを活用し、職業の種類を知る学習や身近で働く人へのインタビュー、2年生の夏休みを利用しての職場体験、自分の将来就きたい職業を見据えてのきめ細かな進路指導などを行っております。

また、開府500年記念事業として始まった「ドリームキャンパス」は、これまでに延べ81校で実施し、甲府市にゆかりの「夢の先生」から、それ

報告：第4号

ぞれの職業のやりがいや苦勞、夢を持つことや努力の大切さなどについて、直接、話を聞くことができる貴重な機会となっており、学校からは、児童生徒のキャリア発達に大変、効果を發揮していると聞いております。

今後におきましても、次代を担う子どもたちが、変化の激しい時代を生き抜き、自らの社会的・職業的自立を図っていくためのキャリア教育に、組織的・計画的に取り組んでまいります。

報告：第4号

3月4日（金）07 原田洋二 議員 答弁資料目次（令和4年3月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	遊亀公園附属動物園の再整備について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	都市計画道路「和戸町竜王線」の今後の取組について	まちづくり部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	学校施設のリニューアルについて	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	上下水道事業のPRについて	上下水道局 業務部長	1

報告：第4号

令和4年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校施設のリニューアルについて

- (1) 質問者 原田洋二 議員
- (2) 質問日 3月4日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 教育施設
- (5) 答弁内容

本市の学校施設につきましては、従前から、各学校の状況を確認しながら改修等を行っておりますが、特に、昭和40年代後半から50年代にかけて整備した校舎と体育館の老朽化対策を財政負担の平準化を図りつつ、計画的に推進するため、平成25年度に「学校施設老朽化リニューアル計画」を策定し、平成29年度までに、小学校11校、中学校4校の校舎、及び小学校3校、中学校1校の体育館の大規模改修工事を実施いたしました。

この間、国は、これまで以上に長期間学校施設を使うことを前提に、地方公共団体に対し、個別施設計画の策定を求めたことから、本市においても、改めて、学校施設の現状を精査する中で、「甲府市学校施設長寿命化計画」を令和3年3月に策定したところであります。

今回、一部未改修の校舎が残っている小学校3校、中学校1校の大規模改修工事に加えて、小中学校各1校のトイレリニューアル工事並びに、中学校1校のグラウンド整備を本計画等に基づき、実施することとし、本定例会に補正予算案を提出したところであります。

今後につきましても、児童生徒が安全安心で快適な学校生活を送れるよう利便性の向上と老朽化対策を一体的に進める中で、新しい時代に対応した学校施設の整備を行ってまいります。

報告：第5号

3月14日(月) 01 長沼達彦 議員 答弁資料目次 (令和4年3月 予算特別委員会)

1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	令和4年度当初予算の特徴と重点的な取組について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	学校におけるデジタル化について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	アフターコロナを見据えた誘客の促進について	産業部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	共生社会の実現に向けた取組について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	道路整備について	まちづくり部長	1

報告：第5号

令和4年3月予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校におけるデジタル化について

- (1) 質問者 長沼達彦 議員
- (2) 質問日 3月14日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

本市におけるG I G Aスクール構想の進捗状況につきましては、令和2年度に高速大容量の校内LANの整備と1人1台端末の調達を終え、令和3年9月に市独自に策定した「甲府市G I G Aスクール推進ビジョン」に基づき、10月から本格運用を開始したところであります。

各校では、学習支援アプリを活用したグループ内での意見共有やプレゼンテーション、アンケート集約、学習内容の定着確認のための小テストなど授業での活用を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の第6波による分散登校や分割授業においては、1人1台端末による家庭学習やオンライン授業にも取り組んでおります。

令和4年度につきましては、ライセンス使用料として当初予算に計上しました1人1台端末用のAI型ドリルによる日常的な家庭学習のほか学校同士や外部の専門家と結んだ遠隔授業、不登校児童生徒への学習支援などを計画しております。

また、共有サイトに本市の教員が作成した優れた学習教材や授業事例などを掲載し、必要な時に、全ての教員が利用できるようにすることや、問題用紙・解答用紙を用いないテストの実施により、授業の質の向上と授業に関する業務の効率化が期待できるものと考えております。

今後におきましても、「甲府市G I G Aスクール推進ビジョン」に基づき、学校のデジタル化を計画的に進め、次代を担う子どもたちが変化の激しい時代を生きていくために必要な資質・能力の育成に努めてまいります。

報告：第5号

3月14日(月) 05 清水英知 議員 答弁資料目次(令和4年3月 予算特別委員会)

1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	市民生活や地域経済の認識等について	市長	1
1-2	滞納者への対応について	税務統括監	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	財政調整基金の活用について	企画財務部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	無症状の方を対象としたPCR等検査の体制について	福祉保健部長	1
3-2	保健所の職員体制について	行政経営部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2 4-3	温室効果ガス排出量削減の取組について	環境部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	学校給食の無償化について	教育部長	1

報告：第5号

令和4年3月予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食の無償化について

- (1) 質問者 清水英知 議員
- (2) 質問日 3月14日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市の学校給食費につきましては、学校給食法の規定に基づき、給食の実施に必要な施設、設備・人件費等の運営費は、設置者である本市が負担しており、保護者の皆様には、給食の食材費を御負担いただいているところであります。

こうした中、現在、本市では児童生徒が経済的理由により、教育を受ける機会が制限されることがないように、支援が必要な準要保護世帯につきましては、就学援助制度により学用品費のほか学校給食費の助成を行っているところであります。

更に、このコロナ禍におきまして、家計急変により、児童生徒の就学が困難となった保護者に対しましては、就学援助と同等の支援を行うとともに、陽性者の発生による休校措置や分散登校に伴いキャンセルできなかった給食の食材費に関しましては、本市が負担をしているところであります。

今後におきましても、援助を必要とする世帯に状況に応じた適切な支援を行ってまいりたいと考えております。

報告：第5号

3月14日（月）06 山田弘之 議員 答弁資料目次（令和4年3月 予算特別委員会）

2-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
総括 1-1	市民生活の現状認識等について	市長	1
1-2			
1-3	市民生活の現状認識等の詳細について	企画財務部長	2
1-4			
1-5			

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	コロナ禍における福祉保健について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	自殺者数の傾向について	福祉保健部長	1
3-2 3-3	不登校の傾向とあすなる学級の増設について	教育長	2
3-4	就学援助制度の拡充と学校給食費の公会計移行後のデメリットの改善について	教育部長	3
3-5 3-6 3-7 3-8	子どもと高齢者への支援について	福祉保健部長	4

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	自治会の未加入者、未加入地域への対応及び業務量の削減について	市民部長	1
4-2	甲府城周辺整備と地域の防犯街路灯の維持について	まちづくり部長	2

報告：第5号

3月14日(月)06 山田弘之 議員 答弁資料目次(令和4年3月 予算特別委員会)

2-2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2 5-3	職員の勤務環境等について	行政経営部長	1
5-4	スクールソーシャルワーカーについて	教育長	2
5-5 5-6	物件費(需用費)の傾向、公債費・将来負担比率の現状と今後について	企画財務部長	3

報告：第5号

令和4年3月予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

不登校の傾向とあすなろ学級の増設について

- (1) 質問者 山田弘之 議員
- (2) 質問日 3月14日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

市立小中学校の不登校児童生徒の傾向ではありますが、令和3年度につきましては1月末の前年同期比で増加傾向となっております。

あすなろ学級につきましては、利用者数は、ここ数年、30人台で推移しており、現在、増設は計画しておりませんが、来年度設置予定の不登校対策検討委員会において、不登校児童生徒や利用希望者の推移も踏まえ、今後のあすなろ学級のあり方について検討してまいります。

報告：第5号

令和4年3月予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

就学援助制度の拡充と学校給食費の公会計移行後のデメリットの改善について

- (1) 質問者 山田弘之 議員
- (2) 質問日 3月14日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

就学援助につきましては、引き続き、支援が必要な児童生徒が、経済的理由により教育を受ける機会が制限されないよう、現行制度の有効な活用を図り、周知啓発に努めてまいります。

学校給食費の公会計移行後の未納者への対応につきましては、これまで教職員が子どもやその家庭の事情等に配慮し、対応してきたことを踏まえて、移行後におきましても学校と連携、協力のもと丁寧な対応を行ってまいります。

報告：第5号

令和4年3月予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

スクールソーシャルワーカーについて

- (1) 質問者 山田弘之 議員
- (2) 質問日 3月14日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

本市では、不登校児童生徒やヤングケアラーへの支援の充実を図るため、来年度より新たに通年雇用のスクールソーシャルワーカーを1名増員し、2名体制とすることといたしました。

これにより、文部科学省が1中学校区の活用時間の目安として示す「週1回3時間程度」の約2倍の時間数となる見通しであります。

今後におきましても、スクールソーシャルワーカーを含めた多職種連携による相談・支援体制を継続し、児童生徒の抱える課題の解決に取り組んでまいります。

報告：第5号

令和4年3月24日

甲府市議会議長 廣瀬集一様

予算特別委員長 山中和男

報告書

去る3月7日の本会議において、当委員会に付託されました令和4年度甲府市各会計別予算14案及び条例14案について、3月14日から22日までの9日間にわたり慎重に審査を行いました。

以下、その経過と結果について御報告いたします。

委員会は冒頭、総括質問を行いました。

(中略)

次に、令和4年度各会計別予算案の審査の経過と結果について主な内容を申し上げます。まず、一般会計予算について申し上げます。

(中略)

教育費については、学校給食費の公会計化についてただしたのに対し、教職員の多忙化を改善し、子どもと向き合う時間を増やしていくため、職員2名、会計年度任用職員1名を増員する中で、学校給食費の徴収に係る業務等に取り組んでいくとの答弁がありました。

これに対し、業務の運用にあたっては、様々な事情を抱えた家庭もあることから、保護者等からの声に耳を傾け、寄り添った対応を求める意見がありました。

また、スクールロイヤーについてただしたのに対し、いじめ、不登校、虐待、学校事故等への対応においては、初期の段階から予防的に弁護士等に助言等を受けることで、速やかな問題解決につながることや教職員の負担軽減が図られることが期待されることから、文部科学省の発行する手引きに基づき配置し、必要に応じて教育委員会が助言を受けるこ

報告：第5号

とに加え、教員に対するコンプライアンス研修等にも活用していくとの答弁がありました。

これに対し、委員会といたしましては、スクールロイヤーについては、新たな取組であることから、慎重かつ適切な判断のもと活用を図っていくことを求めるものであります。

(中略)

以上が令和4年度の一般会計、各特別会計及び各企業会計予算案の審査における質疑の
大要であります。

この後、委員会は反対討論・賛成討論を行いました。

(中略)

次に、採決の結果、

議案第 3号 令和4年度甲府市一般会計予算

(中略)

いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

(中略)

最後に、市長から、令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症により甚大な影響を受けた市民の皆様の暮らしや地域経済の回復に全力を注ぎ、本市の将来にわたる成長を止めることなく前進していくための重要な年であり、新型コロナウイルス感染症への対策にはこれまで以上に適時・適切に対応を図っていくとともに、引き続きこうふ未来づくり重点戦略プロジェクトNEXTに掲げる施策・事業を力強く推し進め、市民サービスの質を低下させることなく、SDGsの理念を踏まえた持続可能なまちづくりを推進していくとの決意が述べられました。

報告の結びにあたり、本市においては、人口減少の抑制が図られている現状を維持しつつ、コロナ禍による地方移住への関心の高まりなどの社会変化を踏まえた事業を展開し、

報告：第5号

人口減少や少子高齢化等に起因する諸課題の解決に向けた取組を推し進めていく必要があります。

当局におかれましては、自主財源の確保と効果的な財源配分等に努めていただきながら、喫緊かつ最優先の課題である新型コロナウイルス感染症への対応として、感染症対策と社会経済活動の両立に向けた取組はもとより、生活様式の多様化など感染症がもたらした大きな社会変化にも的確な対策を講じていく中で、第六次甲府市総合計画の都市像の実現に向け、集大成の年を迎えるこうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTをはじめとする各行政計画に位置付けた施策・事業を着実に推進し、コロナ禍にあっても持続可能なまちづくりの実現に向けて、市長と職員が一丸となって取り組まれることを期待し、報告を終わります。